

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	主査	主査	担当							文書取扱主任		

第 29 回 厚生常任委員会 会議録

開催年月日	平成21年8月25日(火曜日)	開会 13時30分	閉会 14時02分
開催場所	第三委員会室		
出席委員	山口、荒木、渡辺、堀	事務局	中嶋事務局長
	議長、委員外～窪之内		田湯次長
欠席委員	酒井、堀田		寺嶋主査
説明員	別紙のとおり	議件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 今後のごみ処理について		
	2 その他について		
	なし。		
	3 次回委員会の日程について		
	9月1日(火)13時30分から開催することとし、案内文書は省略することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 厚生常任委員長 山口清悦 ㊟			

平成21年8月24日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

厚生常任委員会への説明員の出席について

平成21年8月18日付け滝議第83号で通知のありました厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いいたします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いいたします。

記

滝川市長の委任を受けた者

市民生活部長

市民生活部くらし支援課主幹

西 村 孝

南 均

(総務部総務課総務グループ)

第29回 厚生常任委員会

H21. 8. 25(火) 13:30
第三委員会室

○開 会

○委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《市民生活部》

(1) 今後のごみ処理について

(資料) くらし支援課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

9月1日(火) 13:30 (第三委員会室)

○閉 会

第 29 回 厚生常任委員会

H21. 8. 25(火) 13時30分
第三委員会室

開 会 13:30

委員動静報告

- 委員 長 西井、堀田欠席。議長出席。委員外～窪之内。
- 委員 長 1 所管からの報告事項について
あす関係市町長の会議があり影響を及ぼしてはいけないことからマスコミ等の傍聴を断っている。配付資料についても取り扱いに注意していただきたい。(1)について説明願う。
- 西村部長 (1) 今後のごみ処理について
本日はお忙しい中、委員会を開催していただきありがとうございます。昨日中空知衛生施設組合議会の滝川選出議員に説明させていただいたが、同じ資料を使って説明させていただく。
(別紙資料に基づき説明する。)
- 委員 長 説明が終わった。質疑はあるか。
渡 辺 最終的にこうしたいという説明だったが、厚生常任委員会がどういう立場でいけばいいかということと市民に対してと組合議会の関係がはっきりしなければ市の提案する焼却処理施設のほうがいいのか判断がつかない。この施設にしたいということはわかったが、市民への対応などこれからの市としての手順を説明してもらわないとその前後がわかりかねるので説明願う。
- 西村部長 昨日中空知衛生施設組合の滝川選出議員に説明させていただき5人の議員から応援する旨言っていた。それを受けてあす開催する中空知衛生施設組合の市町長会議で組合としての方向性を出していただき、28日に3組合の組合長会議を予定している。そこで各組合の方向性、それぞれの構成市町からの意見等も踏まえ、最終的には31日に3組合を構成する5市9町の全体会議で処理方法についてまとめていただきたいということでスケジュールを考えている。処理方法についての方針決定を8月中にしないと2期契約中にどういう方向になっても代替施設ができない可能性が大きいので、31日までに処理方法の決定をいただきたいということで進んでいる。ただ、どういう焼却処理施設にするのか、固形燃料化処理施設にするのかといった具体的な機種などについての検討にはまだ入っていない。コンサルには焼却処理施設と固形燃料化処理施設のメリット、デメリット、課題等がどのようなものがあるのか、構成市町の5市9町の判断材料となるべき調査結果がほしいということでお願いしたので、今後のスケジュール等についてもそのようなことで進めたいと思っているのでよろしく願います。
- 渡 辺 焼却処理施設のほうがいいというのは全国でも圧倒的に多いという実績でわかった。ただ、札幌、留萌、富良野で固形燃料化処理施設が稼働していることで、固形燃料化処理施設についても調べてはどうかと思うが考えについて伺う。
- 西村部長 3組合の担当が3カ所を全部回ったというわけではないが、砂川地区の担当がこの3カ所を視察しているようである。道内でRDFを受け入れているのは北海道地域暖房株式会社のみということで、札幌はここに出していると思うが、富良野は最初に出していた製紙会社をやめて北海道地域暖房株式会社をお願いしているという経過もある。平成10年から15年に固形燃料化処理施設が集中

して建てられたが、それ以降の固形燃料化処理施設の建設は少ないと聞いているので、エンドユーザーの確保ができなかったのか、長期的に受け入れてもらえなかったのか、個々の問題について詳細には洗い出していないが、焼却処理施設と同等、もしくはそれ以上のものであれば平成15年以降も利点を生かした施設建設が進んだと思われるので、進まないのは何か大きな問題があるのではないかということである。私どもがお願いしたのは民間委託ということでエコバレー歌志内は第三セクターだが、その教訓を生かして住民生活に直結するごみ処理を安定的にするのか、どういう処理方法がいいのかということで検討した結果ということで判断いただきたい。

渡 辺

両方の処理施設で市民にかかる負担、組合や市町村にかかる経費の面ではどうなのか。建設にどれだけかかるということよりも最終的な負担がどの程度になるかについて伺う。

西村部長

構成市町の負担がどのようになるのかというのは次のステップだと思う。コンサルに出したのは2通りの処理方法についてメリット、デメリットの洗い出しということなので、建設と維持の概略的なものはコンサルにお願いして提示していただいたが、それらについても構成市町の負担関係までは至っていない。

委員長

他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員

① 負担額については次のステップとのことで、P63に建設費の比較が出ているが、何を基準にした比較でどういう数字と受けとめたらいいのか。例えば維持管理費の98億円、建設費の26億円というのは広域でやれば広域の市町の負担で滝川市の負担ではないと思うがその点について伺う。

② 焼却処理施設といっても焼却の仕方や規模などいろいろあると思う。31日までに処理方法が決まったとして、どういった焼却処理施設にするのかをまたコンサルに委託して決めていこうとしているのか、そういうことをしなくても進めていけるものなのか。処理方法が決まった後のスケジュールをどう考えているのか伺う。

西村部長

① 焼却方法についてはストーカー炉の90トン規模ということで、かなり手がけられている焼却処理施設があるので、建設費についてはコンサルが持っているデータから出したおおむね52億円ということである。交付金、起債等を考慮した自治体負担の総額は26億7,000万円になるという試算だが、施設計画条件等により変動がある。維持管理費についても埋め立て処分を除いた管理委託については、20年間の累計という形で出したものである。固形燃料化については、今考えているのは民間が建てるということで建設費はゼロ、約89億円という金額は、1万6,000円から1万8,000円で処理できるだろうという業者から示された処理単価があるので、1万8,000円を基礎としての89億円という説明を受けている。

② 詳細計画については、ストーカー炉に灰融炉や補助を受けるための熱や発電などといったものを付加する必要があるのかどうか、付加した場合に経費をかけただけのメリットがないのであればどうするのかといったこともある。大規模であればサーマルリサイクル効率が大きいですが、90トン規模であればそれより落ちるとの課題も提示されているので、それらを踏まえてあるべき代替処理施設をこれから描き、業者に詳細をお願いするというスケジュールになると思う。

窪之内委員外議員

これからのごみ処理方法を選択するのはいいが、一般ごみそのものをどうする

西村部長

のか。例えば紙類をもっと分別して資源化すると焼却トン数も減ってくるという
ったことも出てくると思う。その辺との関係をどのように考えていくのか伺う。
8月3日に日立に行ったとき、3組合長から古紙類の分別は検討事項という意
見が出ていたこともある。そうするとごみの分別がふえてリサイクルに回り焼
却に持って行くごみ量が減るということで、これからはごみ分別と処理施設を
並行して検討しながら進めるべきだと考えている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。

2 その他について

委員長

何かあるか。(なし)

3 次回委員会の日程について

委員長

次回委員会は、9月1日火曜日、13時30分とし案内文書は省略するのでよろ
しく願います。以上をもって第29回厚生常任委員会を閉会する。

閉 会 14:02